

# 「美座の棒踊り」

## 1 学校名

中種子町立油久小学校

## 2 学年・人数

1年生（計5人） 2年生（計2人） 3年生（計5人）  
4年生（計4人） 5年生（計3人） 6年生（計5人）

## 3 日時・場所

### （1）練習の日時・場所

平成30年8月16日 美座公民館運動場（運動会に向けて）  
平成30年8月17日 美座公民館運動場（運動会に向けて）  
平成30年9月18日 油久小学校校庭（運動会に向けて）  
平成30年10月13日 油久神社（油久神社大祭に向けて）  
平成30年11月1日 種子島こり～な（町民文化祭のリハーサル）

### （2）発表の日時・場所

平成30年9月23日 油久小学校校庭（油久小・校区合同秋季大運動会）  
平成30年10月20日 油久神社大祭（棒踊りの奉納）  
平成30年11月3日 種子島こり～な（町民文化祭）

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### （1）名称

美座の棒踊り

### （2）由来

美座の棒踊りは、明治の初め頃、加世田方面から伝わったといわれている。豊作祈願やお祝い、人々を元気付けるときなどに踊られ奉納されていた。しかし、美座集落の若者が担い手であった美座棒踊りは、年々踊る人が少なくなり、1991年に途絶えてしまった。

一旦は途絶えてしまった棒踊りであるが、2008年に美座集落青壮年部の取組で復活。その中で、指導を受けた4年生以上の28人が、校区と合同の秋季大運動会で披露したのをきっかけに受け継がれていくこととなった。

### （3）構成等

唄と太鼓に合わせながら、3尺棒と6尺棒を使って踊る。構成は、入場（出端）→棒付き（切り込み）→本踊り（3尺・6尺）→退場（引端）となっている。唄に合わせて入場した後、途中から駆け足となる。特徴的な動きは、膝を深く曲げて足を踏み込むところや、大声を出して棒を打ち合うところである。

## 5 保存会や地域との連携の具体

棒踊りを披露する機会は、町民文化祭や生涯学習フェア，農林漁業祭等の町が主催する催しと、油久小学校・油久校区合同秋季大運動会，油久神社大祭などがある。その時期になると、油久校区育成会の会長が、美座集落の指導者に連絡を取り、練習日を設定する。指導者は、集落の青年団と一緒に指導にあたる。保護者の中にも、一緒に踊ったり、指導したりしてくださる方がいる。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

油久小学校のよき伝統となっている棒踊りであるが、児童数の減少により、披露する場によっては、隊形を作るのに苦慮することがある。そこで、中学生や一部の保護者がその中に入って、人数不足を補っている。

さまざまな場で披露することが、児童のモチベーションを高めている。また、その姿を見せることで、油久小児童の頑張りを地域の方々に発信できていると感じる。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）

年に何回も練習するわけではないので、練習を開始した頃は、戸惑う児童も多い。しかし、指導を受けたり練習を繰り返したりする内に勘を取り戻して、上級生などはすぐに踊れるようになった。また、初めて参加する1年生も熱心に練習し、動きを合わせられるようになった。

＜夏休みの練習風景＞



＜秋季大運動会での披露＞



＜油久神社大祭における棒踊りの奉納＞



＜町民文化祭での披露＞



## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

棒踊りは、地域と学校をつなぐ文化財である。練習を通して地域の方々とつながり、様々な場で披露することによって、油久小児童の頑張りを感じてもらえる。

また、子供から親へ、そして成長して大人になった子供がまた自分の子供へと伝えていくよき伝承活動である。今後も次世代につないでいけるように学校としてもサポートしていきたい。